

農福連携における障がい者の支援のための 足元データも考慮した ネックバンド機器の開発

八十住 捨輝

富山県立大学 情報システム工学科

u020042@st.pu-toyama.ac.jp

2023年5月26日

1. はじめに

2/4

本研究の背景

- 高齢者の筋力低下
- 精神疾患者の不安感
- アンビエント社会

本研究の目的

- 高齢者や障がい者の方々が安心して歩くことができる環境づくり
- 障がい者の労働支援
- 安価なセンサで必要なセンシング
- ウェアラブル装置からのデータをもとに、ストレス測定
- 装置の小型化

1. 進捗報告

3/4

足元データ

- server と Raspberry Pi に置く複数で行えるプログラムの完成
- Raspberry Pi Pico W の勉強

ネックバンド機器

- プログラムの見直し
- 動作確認

3. おわりに

4/4

まとめ

複数人で行えるプログラムが完成した。

今後

ネックバンド機器の方のシリアル通信がうまくいかないのでまずはそれを直していく。同時に Raspberry Pi Pico W での政策にも取り掛かる。

最終的に

最終的には足元と心拍のデータを取得し、ストレスコーピングを行い、障がい者、高齢者を支援する機器の開発を行う。また、センサの小型化を行い、障がい者、高齢者の負担を減らす。